

# 令和8年度 シラバス

科目		単位数	学年				
家庭基礎		2	1				
教科書番号・教科書名			副教材				
家基002-901 家庭基礎 自立・共生・創造			「2026 最新 生活ハンドブック 家庭 資料&成分表」 第一学習社				
学習の目標							
<p>(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>							
評価の方法							
		①知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度			
		生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。【定期考査・ワークシート】	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。【定期考査・発表・振り返りシート・レポート】	課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。【振り返りシート・レポート】			
学習計画及び評価方法							
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント			
					①	②	③
1 学期	4月	第1章 生涯を見通す	1 人生を展望する 2 目標を持って生きる	・自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解し、歩みたい人生の目標を描く。	○	○	○
	5月	第2章 人生をつくる	1 人生をつくる	・生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。	○		
			2 家族・家庭を見つめる 3 これからの家庭生活と社会	・よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。 ・家庭や地域のよりよい生活を創造できるにはどのような社会を実現すればよいか、考えて実践しようとする。	○	○	○
	6月	第3章 子どもと共に育つ	1 命を育む 2 子どもの育つ力を知る	・命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。 ・子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。	○		○
			3 子どもと関わる 4 子どもとの触れ合いから学ぶ 5 これからの保育環境	・子どもの生活習慣や衣食住について理解する。 ・子どもや子育てに対する理解を深めるために、子どもとの触れ合いや、親や保育者と子どもの関わり方の観察など、さまざまな体験をする。	○	○	
7月	第4章 超高齢社会を共に生きる	1 超高齢・大衆長寿社会を迎えて 2 高齢者の心身の特徴 3 これからの超高齢社会	・加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 ・高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。 ・超高齢社会の課題を踏まえて、自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考え、行動しようとする。	○	○	○	
8月	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	・生活に生かそう ・各章末「ホームプロジェクト」	・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする。	○	○	○	
2 学期	9月	第5章 共に生き、共に支える	1 私たちの生活と福祉 2 社会保障の考え方	・誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。	○		○
			3 共に生きる	・私たちが多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて、個人や地域はどのような役割を果たし、つながっていけばよいか、考えて実践しようとする。		○	
			1 食生活の課題について考える	・生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。	○		
	10月	第6章 食生活をつくる	2 食事と栄養・食品 3 食生活の選択と安全	・栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。 ・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。	○	○	
			4 生涯の健康を見通した食事計画 5 調理の基礎	・各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、「健康によい、栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを理解する。 ・調理の知識と技術を身につけ、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。	○		
	11月	第7章 衣生活をつくる	6 食生活の文化と知恵 7 これからの食生活	・郷土食や行事食などの日本の食文化の特徴を確認する。 ・安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。		○	
	1 被服の役割を考える		・私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。 ・用途に合った着装を実践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえでの被服の役割を理解する。	○	○		
12月	4 衣生活の文化と知恵 5 これからの衣生活	・日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について理解する。 ・次世代に引き継げる衣生活の在り方を考えるために、資源の消費の視点で自分の衣生活を見直す。	○	○			
3 学期	1月	第8章 住生活をつくる	1 住生活の変遷と住居の機能	・生涯を見通した住生活について考え、私たちの毎日の生活を支える生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。	○	○	
			2 安全で快適な住生活の計画	・防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深め、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。	○		○
			3 住生活の文化と知恵 4 これからの住生活	・気候や風土の違い、時代の変化によって、大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。 ・持続可能な住居や、環境に配慮した住生活について理解する。		○	
	2月	第9章 経済生活を営む	1 情報の収集・比較と意思決定	・自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。	○	○	
			2 購入・支払いのルールと方法	・販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう、契約の重要性について理解する。	○		○
3 消費者の権利と責任 4 生涯の経済生活を見通す 5 これからの経済生活	・生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。 ・世界経済の中で家計をマネジメントする力をつけるため、家計と地域経済・国民経済・国際経済のつながりについて理解する。 ・どうすれば持続可能な経済成長が実現できるか考えて実践しようとする。	○	○				
3月	第10章 持続可能な生活を営む	1 持続可能な社会を目指して	・持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫する。	○	○	○	
		第11章 これからの生活を創造する	1 生活をデザインする	・人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。	○	○	○